

横浜市立上白根学校 令和4年度 健やかな体の育成プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

| 学校経営中期取組目標 | |
|---|--|
| <p>「ともに生きる子 ー信頼と安心と笑顔の学校ー」 学校のあいことば「かんがえよう！ かかわろう！ かがやこう！」</p> <p>(知)よさを発揮し粘り強く取り組む子 (徳)自分も友達も大切にできる子 (体)心と体を健やかに育む子 (公)上白根のまちに生き ともに歩む子 (開)ともに学び合い高め合う子</p> | |

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

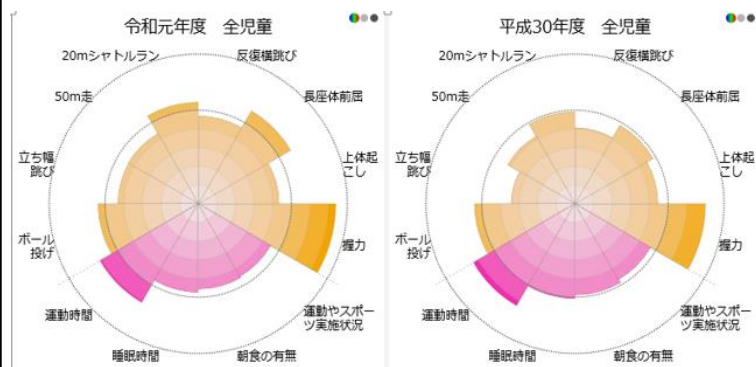
| 重点取組分野 | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|--|---|
| 健やかな体 | 子どもの体育・健康面の姿から課題を明確にし、体育科・保健体育科の授業を中心としながら、教育活動全体を通して健やかな体の育成を目指す。 | ① 校内研修による、体育・保健体育科の授業改善を図る。 ② 体力向上のため1校1実践運動の改善を図り、年間を通じた活動として位置付ける。 ③ 体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。 |
| 担当 | 体育部 | |

2 本校の体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- 給食の残量は少なく、好き嫌いをなく食べようという意欲がある。
- 学区に小さな公園が多く、放課後の遊び場になっている。
- 休み時間には、鬼ごっこや遊具遊びをする児童が多い。また、ボール遊びをする児童も多い。
- 地域のスポーツクラブではミニバスケットボール、野球、サッカーが特に盛んで所属している児童も多い。また、水泳、テニス、体操などのクラブに参加している児童もいる。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



○朝食の有無や睡眠時間の確保、運動実施状況などで生活実態は悪くないことが、投力や全身持久力などの筋力系の発達に影響していると考えられる。その反面、調整力・跳躍力については、児童の運動経験が限られてしまっていることが大きく影響している。さまざまな体の動かし方や使い方を経験できるような働きかけを、一校一実践を通して、継続的に進めていきたい。また

児童の興味関心を高めたり、発達段階に応じた系統性を意識したりした体育科の学習の充実や、社会体育を中心とした地域や家庭にも情報を公開し、協力を仰ぐなど多面的な取組が必要になってくる。

教科

《体育科での取組》

- 体育読本、体育指導の解説書などを活用し、児童が「わかる」「楽しい」と感じられる授業を実践し、運動の楽しさや喜びにふれ、課題を解決する力を高める。
- 各学年で経験すべき事項や、身に付けさせる力を明確にし、系統性を意識した授業づくりに取り組む。
- 養護教諭や栄養教諭による、子どもたちの生活や他教科の学習との関連を図った取組の工夫をする。

《他教科での取組》

- 家庭科では、栄養について学んだり、調理実習をしたりすることを通して、食育との関連を図る。
- 生活科・理科では、植物の世話や生き物の飼育、植物や人の成長や誕生の学習を通して、生命の尊さを学ばせていく。

道徳・特活・総合

《道徳・特活・総合での取組》

- ・道徳の内容項目と関連付けて、集団でのゲーム等を行うことで粘り強さやきまりやルールを守るといった態度を養えるようにする。
- ・児童会活動では、計画的にたてわり遊びを企画し、体を動かす遊びや運動を取り入れていく。
- ・学級活動では（2）において、健康についての課題を取り上げ、自分なりの目標を決め、具体的に取組めるようにする。
- ・学校保健委員会では、新体力テストの結果などから全校の課題を把握し、校医、PTAと一緒に考えたり取組んだりする活動を通して、児童の健康への意識を高められるようにする。
- ・総合的な学習の時間では、地域の人と関わりをもち、食物を育て、食べることを通して自他の生命と向き合えるようにする。

課外活動

- ・歯科巡回指導 ・学校保健委員会(年2回予定) ・健康診断 ・夏季水泳学習
- ・区親善球技大会の朝練習(5学年全員参加)
- ・児童の体力や健康面の課題を学校だよりや保健だよりを通して、家庭や地域と共有する
- ・給食週間

令和年度 上白根小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 かみしらねっ子 ぐんぐんタイム! みんなでスター大作戦

《ねらい》 児童が主体的に取り組めるように、内容の取組の充実を図りながら、運動の楽しさを味わえるようにする。そのために、運動機会の確保・児童の体力向上・運動の習慣化・健康な生活習慣の育成を図る。

《内容》 ・火(1・3・6年)・木(2・4・5年)の中休み(10:35~10:45)
・毎週1回(曜日を固定)、を短縄や長縄の日として取り組む。
・縄跳びを通して、学級づくりや、課題解決に向けた姿勢をはぐくむことを目指す。

- 指 標：
- ①事前のめあて設定と事後の振り返り。(記録の掲示などによる可視化した振り返り)
 - ②学習カードへの記録の記入による達成度の確認。
 - ③生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。
 - ④運動委員会・企画委員会など、関連する児童会活動からの発信や啓発活動を行う。